

栄養障害リスクを有する外科手術患者における GLIMcriteriaによる低栄養と術後合併症との関連に関する後ろ向き研究 について

1. 研究の対象

2024年6月1日～2026年5月31日の期間に当院へ入院し、心臓血管外科、消化器外科、整形外科、脳神経外科、呼吸器外科で全身麻酔下手術を受けた18歳以上の患者さんを対象としています。ただし、入院期間が24時間以内の方や手術後30日以内に亡くなられた方は対象としません。

2. 研究目的・方法

【目的】低栄養は手術後の合併症や予後に影響を及ぼす重要な因子です。近年、GLIMcriteriaが国際的な低栄養診断として提唱され、臨床応用が進んでいます。これまでに主に消化器外科領域において、GLIMcriteriaによる低栄養が手術後合併症と関連することが報告されていますが、その他の外科手術を行う診療科の患者さんを対象とした検討はあまりありません。

本研究では栄養障害リスクを有する消化器外科の手術患者さんに加え、心臓血管外科、整形外科、脳神経外科、呼吸器外科の手術患者さんを対象に、GLIMcriteriaにより診断された低栄養と術後合併症との関連などを明らかにすることを目的として実施します。

【方法】電子カルテなどの診療録や事務関連部署の費用関連のデータなど、通常の診療を受けられた際に記録し、保管された情報を収集します。この研究のために、新たに診察や検査など追加することはありません。その他、研究のために特に患者さんにしていただくことはありません。

【情報公開日】2026年7月22日

【研究期間】2026年7月29日 ～ 2028年3月31日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

《情報》

年齢、性別、診療科、入院日、退院日、在院日数、身長、体重、体重減少率、入院時病名、既往歴、BMI、下腿周囲長、浮腫の有無、腹水の有無、歯の欠損、義歯の有無、褥瘡の有無、入院前の食事摂取状況、入院中の食事摂取状況、内服薬剤内容、合併症の有無、抗菌薬使用量、医療費、血液・生化学検査等結果（Alb、CRP、白血球数、基礎疾患等）、術式、手術時間、術中出血量、緊急手術の有無、術後合併症の有無と種類、30日以内の再入院の有無 など

* 本研究では、試料（血液や組織など）については、既に保存されているものを使用することなく、新たに採取することはありません。上記の情報のみを使用します。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

【連絡先】

研究責任者： 後藤 啓太 （ 栄養管理室 ・ 管理栄養士 主任 ）

実施医療機関名：国家公務員共済組合連合会 大手前病院

住所 ：〒540-0008 大阪市中央区大手前 1-5-34

電話番号 ：06-6941-0484（代表）（平日：9：00～17：00）

（作成日：2026 年 7 月 22 日）